

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床判断演習 I	学 期	後期	山田 奈穂子 (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目 的 (ねらい)	事例を通して思考力や想像力を養い、患者のニーズや健康問題を解釈し、対象の状態や状況に応じて判断して看護を実践する能力を身につける。また、根拠をもって実践した看護を振り返る能力を身につける。			
目 標	1. 気づくことの重要性を理解する 2. 気づくために必要なことがわかる 3. 気づいたことを科学的根拠に基づき解釈できる			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	臨床判断とは シミュレーション教育について 「気づく」ことの重要性！	・臨床判断プロセス ・気づくトレーニング体験（気づくラウンド）	講義 演習
	2	シミュレーション演習1の オリエンテーション	・シミュレーション演習1（環境整備） ・シーツ交換技術演習について	
	3	シミュレーション演習1 「気づく」ために必要なこと1	・事前学習 ・環境整備	
	4	技術試験	・シーツ交換	
	5	看護師のように考えよう！！「気づく」ために必要なこと2	・事例で看護師のように考える	講義
	6	フィジカルアセスメント研修	・呼吸音 (診療看護師、クリニカルケア認定看護師 ：池内先生)	
	7			
	8	シミュレーション演習2の オリエンテーション	・シミュレーション演習2（フィジカルアセスメント） ・事前学習	
	9	シミュレーション演習2、 10	・フィジカルアセスメント：呼吸音の聴取・問診から まとめ	
教 科 書	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社			
参考文献				
評価方法	シーツ交換技術試験 20% 授業参加状況・態度 10%、提出物の内容 70%を基準に総合的に評価する。			
関連科目	専門基礎分野、看護学全般			
自己学習に関する指針	専門基礎分野、専門分野でこれまでに学んだ知識を踏まえて授業を展開する。			
その他の 通知事項				